

【平成26年度】（第11回）原子力規格委員会功労賞 受賞者の方々

(50音順 敬称略)

No	氏名	所属	選考理由
1	いわた きちさ 岩田 吉左	電源開発 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 耐震設計分科会 火山検討会の幹事として、JEAG4625-20XX「原子力発電所火山影響評価技術指針」の改定にあたって、原子力発電所の機器／電気設備に対する影響評価手法について、審査実績に基づく技術的根拠を蓄積し、評価対象設備の選定と、その個々の設備の評価における留意点について、詳細かつ具体的にとりまとめるなど、火山事象に対する設計評価の実務化に尽力された。
2	うらの たかし 浦野 隆嗣	中部電力 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 運転・保守分科会 保守管理検討会の主査として、JEAC4209-201X「原子力発電所の保守管理規程」及び JEAG4210-201X「原子力発電所の保守管理指針」の改定にあたって、新規基準で追加となる重大事故等対処施設等の保守管理、保守管理におけるリスク情報の更なる活用、PLM との連携を考慮した保守管理の実施フローの検討及び改定案の取り纏め、関係者への説明・調整を行い規格化に尽力された。 日本原子力技術協会（JANTI）への出向時に、JEAC4804-2008「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」の新規制定及び JEAC4804-2011「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」の改定作業に携わった。
3	しまず ふみお 島津 文雄	北海道電力 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証分科会の委員として、JEAC4111 の品質保証コースⅡ、Ⅲ、Ⅳ講習会に平成17年度から継続して講師やパネラーを務め、JEAC4111 の普及・促進を図ることに貢献された。また、普及促進チームにおいて、テキスト原稿の作成、若手講師の育成・指導を担った。 品質保証検討会の委員として、JEAC4111-2013、JEAG4121-201X の改定作業において、新たに設計・建設段階を追加し対応するため立ち上げた「設計・建設作業会」のチームリーダーとして、業務実態に即した改善に向け、規格見直し全体を精力的にリードされた。また、JEAC4111-2009 及び JEAG4121-2009 の改定において、作業会メンバーとして、制定に多大な貢献を果たされた。
4	わたなべ くにみち 渡邊 邦道	(一社)原子力 安全推進協会	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証分科会の幹事及び品質保証検討会の委員として、JEAC4111-2013 の改定作業において、福島事故のQMS上の反省事項を踏まえ、IAEA のマネジメントシステム DS456 の反映、設計/建設に係る品質保証の原案への反映など、課題の提起、規格改定案の立案などで先導的役割を果たした。また、原案策定チーム主査として、規格見直しの基本方針・戦略の策定及び規格構成の検討を行なうなど、リーダーシップを発揮された。 JEAC4111-2003、JEAC4111-2009 及び JEAG4121-2005、JEAG4121-2009 など、これまでの品質保証規格策定作業において、全て中心的役割を担ってきた。品質保証分科会傘下の全体チームの主査として、JEAG4121-201X 策定原案の取りまとめを行い、改定案検討の期間中は全ての作業会に出席し、長年培った品質保証に関する経験と ISO に対する深い造詣から、規格の改定に多大な貢献を果たされた。

以上